



戦争と平和について考えてみました

校長 佐藤 伸也



7月20日(木)、【旅する「ピカドン・ピアノ」新穂小学校公演】が行われました。佐渡市教育委員会からこの事業の紹介があり、申し込みをしたところ、新穂小学校での公演が実現しました。

この公演では、被爆ピアノが披露されました。被爆ピアノとは、原爆投下時1945年8月6日の広島、8月9日の長崎で爆心地より約3km以内での爆風、熱線、放射能等の被害を受けたピアノのことを言うのだそうです。被爆ピアノの管理者でピアノ調律師でもある矢川光則さんが、自分のできる平和運動として2001年より被爆ピアノ全国巡演コンサートを開始されたとのことでした。

公演は、千羽鶴の献納を行い、DVDを視聴した後、矢川光則さんのお話をお聞きしました。被爆ピアノは現在7台あり、披露していただいた被爆ピアノの持ち主のエピソードや平和への想いを語ってくださいました。後半は5年生の児童が「メヌエット」という曲を実際に被爆ピアノで生演奏をし、最後に佐々木教諭の伴奏、信田教諭の指揮により、全校で「校歌」と「世界がひとつになるまで」を合唱しました。心温まる素晴らしい公演となりました。

公演終了後、被爆ピアノを自由に触れられる時間が設けられました。大勢の子どもたちが触れたり音を鳴らしたりしてくれました。新穂小の子どもたちが大人になった時、「原爆で被爆したあのピアノ」を再び思い出し、成長した心の中で平和のメロディーが奏でられる、そんな日がきっと来るのではないかと私の心の中でそのような夢が広がりました。

